

れんが造りの壁のような美しい連続地層
大野の整合



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	おおののせいごう
所在地	鏡野町竹田
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	吉井川支流の香々美川の右岸に、長さ約180mの第三紀層の断崖が現れている。この断崖は褐色の砂岩と黒褐色の頁岩とが交互に重積して成層している。長い年月同一環境での単なる推積を繰り返した生成物である。
アクセス方法	JR津山駅よりバス奥津方面行「寺元」下車、徒歩約15分
公開状況	自由
設備	
備考	隣接している女山には、まるで大きな蜂の巣のような六角形の断面を持つ玄武岩が多く露出しています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	大野の整合
よみかた	おおののせいごう
しょざいち (所在地)	鏡野町竹田
していたひ (指定した日)	昭和31年4月1日
せつめい	香々美川(かがみがわ)の川岸(かわぎし)に、きれいに並(なら)んでいる地層(ちそう)があらわれています。その長さは180メートルもあります。およそ2500万年前から200万年前までの時代(じだい)の第三紀(だいさんき)の地層です。とてつもない長い時間をかけて、このような地層ができあがりました。